



仲間と共に



令和3年度 <三輪南小 学校だより> 令和4年1月24日

新型コロナウイルス第六波をむかえて

校長 小野木 義浩

1月に入り、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が急激に増え、岐阜県では県独自の非常事態宣言、まん延防止等重点措置が発出されました。今回の主流であるオミクロン株の重症化率は低いとは言われていますがよくわかりません。しかし、感染力は強いため、急激に感染者が、特にワクチンを接種していない若い世代に広がっています。岐阜市内でも学校閉鎖や学級閉鎖などが見られるようになってきています。どこの学校から陽性者や濃厚接触者が出ても不思議ではないような状況です。今回、子供たちと確認したことは次の通りです。

★これまでやってきた感染予防対策をきちんとやりましょう。

マスクの正しい着用、場面が代わるごとに手洗い・消毒、ノーマスク、まめな換気（教室の窓の一部開放や休み時間毎の窓開け、マスクを外す時の特別な注意（給食は黙食、登下校や体育の時間の一部など）、毎日の確実な検温と健康チェック

国や県、市の方針を受けて、校外に出かける学習や社会見学、地域と連携した行事や活動などを中止や延期とします。また、複数学年が集団やグループでいっしょに活動する取組は原則行いません。すでにお知らせいたしましたように、2月5日「とうさん・かあさん・地域の皆さんお仕事授業」と2月18日（金）授業参観は中止とします。また、なかよし遊び（縦割りグループ）やクラブ活動・委員会（日常活動は除く）の時間の実施は見合わせます。また、放課後児童教室（どんぐりクラブ）は1月31日と2月7日は中止とします。計画していた内容が予定通りできないことはとても残念です。この状況下でも、子供たちが元気になる笑顔になる取組を考えていきます。

高い伝播性や短い潜伏期間という特徴のあるオミクロン株に対応して、県や市から新たな学校の対応方針が出されました。学級で一人でも陽性が判明した場合、現行では「保健所などの調査により、学級などの接触者を特定した後、該当者を自宅待機」としていましたが、新しい基準では「保健所などの調査・判断を待たずに、速やかに学級全体を自宅待機（学級閉鎖）」（保健所がPCR検査の受検者等の判断をするまでの期間）となります。学級閉鎖が同一学年に複数発生した場合は学年閉鎖、学年閉鎖が複数発生した場合は、学校全体が臨時休業となります。学級閉鎖などが発生した場合は、オンラインなどによる学習支援を行います。そのため、急な学級閉鎖などの可能性がありますので、靴が重くなりますが、「置き勉」を工夫しながら、これまで同様にタブレットの持ち帰りはします。

発熱や咳・倦怠感などいつもと体調が異なったり、調子が悪かったりするときには、無理をせずに体を休ませてください。病院の診察もお願いします。いろいろとご心配の中、ご無理を申すことがあるかと思えます。ご理解・ご協力をお願いします。

